

千年の森便り No.244

2024.4.30

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月21日(日) 天候 曇り

2024年度の最初の活動日です。総会があるのでお天気が心配でしたが、総会の時にわずかにぽつぽつときたものの、その後は曇り空に時々日が差し、活動には快適な1日でした。活動内容としては、年度初めの定時総会、物置改修作業、今年度の活動を考えながら新緑の豊英島を散策しました。

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、清水、竹下、成沢、福島の会員9名でした。

次回の定例活動日は5月19日(日)です。公開行事として、清和県民の森ハイキングを行う予定です。ハイキングの案内と、事前に島で準備をするスタッフが必要となりますので、会員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。(福島)



〇定時総会

ちば千年の森をつくる会規約に基づき年度初めの定時総会を開催しました。議案は、2023年度の活動報告、会計報告、会計監査報告、2024年度の活動計画案、予算計画案、規約改正案、役員改選についての6議案で、2024年度の活動計画案、予算案を中心に質疑を行いました。

今年度の新たな活動内容としては、ロープワークの研修、イノシシに対応した植生保護柵の検討を行うこととしました。また、大原さんからは、マザーツリーを決めて伐採木を利用してやぐらを組み、樹冠の観察を行うという案が出されました。今年度も、新たな方向性を見出す活動に積極的に取り組んでいくことで活動案が承認されました。予算案については、(一財)セブンイレブン記念財団、ちば環境再生基金の助成金を有効に活用して活動を進めていくことで承認されました。(福島)



定時総会を終え、新緑の中でランチタイム

〇4月の花や生き物

5か月ぶりの豊英島は新緑まっただ中です。赤褐色のつり橋には、いつもワクワクします。橋を渡ればコナラをはじめとする落葉樹が芽吹き、淡い緑色の広がる世界が待っています。今日は日差しもやわらかく、曇天の空も気にならないほど爽やかに感じました。

・コナラ伐採地

コナラ伐採地入り口付近に、一回り大きくなったヤマブキが一重の黄色い花を枝一面につけていました。白い花と赤っぽい実をつけていたのはニガイチゴです。チゴユリは地表10cmほどのところに、足の踏み場もないほど咲いていました。昨年、羽の付いた種を確認したハンショウヅルは赤紫の蕾ができていました。まもなく開花

すると思います。次の活動日にも在ってほしいものです。ツクバネウツギ、コバノガマズミ、ミツバツチグリも彩りを添えていました。オケラは蒴果となっても目立っていました。

枝先（樹種未確認：ツバキではない）に集まっていたのはドクガのようです。周辺に広がらないうちに退治しました。

年年歳歳、島の表情は同じではありません。いつものように出会えると思ってくると大概期待はずれに終わります。年のせいでしょうか、ここでも一期一会を実感しています。

・ホコラ山と禁断の岬

ホコラ山のすそ野にはヒガンmamシグサが緑色の実をつけ、エビネ（赤褐色、緑褐色）2種類が近接して咲いています。今が見頃です。透明感のあるすっきりとした色合いでしばらく見入っていました。禁断の岬の崖にあるヒカゲツツジは新芽が出てきたばかりのようです。今年も花がみられることを願っています。湖面に張り出したウワミズザクラは白いブラシ状の花穂をつけていました。蒴果となったヒメフタバランの近くにはフデリンドウが数株咲き、キッコウハグマもみずみずしい株でこの周辺に散見できます。花期の10月ごろを楽しみにしています。

・ホテイ岬

どういわけかミツバツツジはホテイ岬の区域にしかないようです。今日確認したのは3本です。鮮やかなピンクが印象的でした。2m程の長さのアオダイショウが重量感のある動きで、悠然と目の前を横切っていきました。スミレで確認できたのは、タチツボスミレの1輪でした。（秋元）



ニガイチゴ



チゴユリ



ハンショウヅル



ツクバネウツギ



コバノガマズミ



ミツバツチグリ



オケラ (蒴果)



ドクガ (幼虫)



ヒガンmamシグサ



エビネ (赤褐色)



エビネ (緑褐色)



ヒカゲツツジ



ウワミズザクラ



ヒメフタバラン



ミツバツツジ



アオダイショウ

○物置の改修作業

今回は、坂本さんが準備してくれたモウソウチクを広場に運び、屋根材とするために半割りして節を抜く作業までを行いました。朝イチで吊り橋の手前から広場まで全員で何往復かして運搬を行ったあと、総会、昼食後に、半割りする班と節を抜く班に分かれて作業を行いました。ひとり二人では1日ばかりになってしまう力仕事でしたが、みんなで協力して手分けすることでスムーズに作業を進めることができました。やはり数の力はすごいですね。次は物置の上に屋根材を載せる作業です。(福島)



○ユウシュンラン、みつけた！

午前中の総会と竹の加工作業が早めに終わったので、メンバー全員で島内の散策を楽しんだ。エビネが開花の時期を迎えていて、目が慣れてくるとたくさんの花が咲いているのがわかり嬉しかった。さらに奥まで進むと突然、福島さんが「以前このあたりにユウシュンランが咲いていたので注意して歩いてください。踏みつけないようにね！」と注意された。ユウシュンラン？聞いたことないなあ。それって、どのくらいのサイズですか？と聞いてみたら、「高さで10cmくらいかなあ。小さい花をつけます。」と、言い終わらないうちに「あ、あった！」本当だ。注意されないと通り過ぎてしまうほどの可愛らしさだ。あ、ここにもあった！花はギンランそっくりだった。高さは10cm位なのでギンランの半分以下のサイズだ。



ユウシュンラン

その場で千葉県レッドリストを調べてみたら「最重要保護生物A」にランクされていた。ちなみに環境省のレッドリストでは「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」なのでかなりの希少種だ。ネットによれば、同じラン科キンラン属のギンランとの違いは、背丈のサイズ感に加えてほとんど開花しないギンランに比べて花がきれいに開くという。今回出会った二つの個体はいずれも開花直前のようなのだ。うーん、十分に開いた状態で見てみたかったな・・・とはいえ、次回の活動日は一か月後なので、花はすでに終わっちゃってるだろうなあ。(残念！)



清水さんが山梨県で撮影したユウシュンランらしき個体

気になることがあったので帰宅してから自宅のPCに保存してある過去の写真データを探してみる。あった！2018年5月に山梨県の滝子山に登った時に撮影した花の写真に、今回の花とよく似た個体があることを思い出した。その時は、ギンランだと思っていたんだけど、ほとんど開花しないギンランに比べて花がきれいに開花しているので当時から気になっていた。開花した状況といい、葉の形、サイズ感といい、この個体はユウシュンランではないかと思う。そうだとしたら6年前に滝子山で出会っていたんだなー。

ちなみに、山梨県では「絶滅危惧IA類(CR)」でした。(清水)

○島内散策

上の清水さんのユウシュンランの記事にあるように、ネット上にはユウシュンランが開花している画像が多く掲載されていますが、これまで豊英島で撮影されたユウシュンランはすべて蕾の状態のもので、開花したものは一度も確認されていません。きれいに開花するのかどうかとても気になるところです。

ほかに確認できた植物は、キンラン、フモトスミレ、ツチアケビなどです。2月に開花していたコショウノキは緑色の実を多数つけていました。動物では、秋元さんのアオダイショウのほかに、ヒメコマツの植生保護柵内でニホンマムシを確認しました。(福島)



キンラン



フモトスミレ



ツチアケビ



ニホンマムシ

○新緑で枯れ木発見が容易に！

島内に新緑が増えてくると、枯損木がよくわかるようになりました。冬場は気付きませんでした。通路の真横に何本も枯れた木があり、早めに処理した方が良さそうでした。一方で枯れた木の伐倒は、くさびを打った衝撃で大枝が落ちてきたり、ロープで牽引した際に思わぬ場所で折れたり、腐っていて受け口や切り残しが機能しなかったりと、危険がいっぱいです。

次回、リスクアセスメントや危険予知をしっかり実施し、決して無理せず作業したいと思います。ご安全に！（竹下）



お知らせ

○次回の定例活動は**5月19日（日）**です。

公開行事として、清和県民の森ハイキングを行います。ハイキングのスタッフ、島で事前に準備をするスタッフが必要になりますので会員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

集合場所と時間は、県民の森管理事務所下の駐車場に 9:20（参加者の集合時間は 9:30）の予定です。

熱中症対策と、島に入る際は、ヤマビル、ダニ対策、安全のためヘルメットの着用をお願いします。

2024 年度の活動予定

活動日	主な活動	摘 要
4月21日(日)	定時総会、物置改修、個別活動(自由活動)	
5月19日(日)	清和県民の森ハイキング	公開行事
6月16日(日)	シカ調査、環境整備(水辺)、(危険木伐採) 駐車場・電柵付近の草刈り、刈り払い機操作体験	
7月15日(月祝)	夏のきのご観察会(外部講師)	公開行事
8月18日(日)	相対照度調査、ヒメコマツ下刈り、植生保護柵補修、 コナラ伐採地刈り払い(状況に応じて)、(危険木伐採)	
9月16日(月祝)	シカ調査、環境整備(観察路、広場)、(危険木伐採) 駐車場・電柵付近の草刈り、刈り払い機操作体験	
10月14日(月祝)	秋のきのご観察会(外部講師)	公開行事
11月17日(日)	ホテイ岬地区整備、植生保護柵補修 チェーンソー操作体験、(危険木伐採)	
12月1日(日)	シカ調査、紅葉散策、(危険木伐採) ロープワーク研修、ロープを使った木登り体験	紅葉時期
1月19日(日)	植生保護柵補修、(危険木伐採) コナラ伐採地刈り払い(状況に応じて)	
2月16日(日)	相対照度調査、植生保護柵補修、(危険木伐採)	
3月16日(日)	シカ調査、ヒメコマツ測定補助 植生保護柵補修、(危険木伐採)	

原則として第3日曜日

9月16日(月祝) : 3連休の最終日

7月15日(月祝)、10月14日(月祝) : きのご観察会で吹春講師依頼

12月1日(日) : 紅葉に合わせて第1日曜日

植物・野鳥・昆虫・きのご調査等は、適宜実施する。